

「福岡国際医療福祉大学(仮称)」教員募集要項

1. 募集分野

【理学療法学系】

基礎理学療法分野、神経理学療法分野、運動器理学療法分野、内部障害理学療法分野、生活環境支援理学療法分野、物理療法分野

【作業療法学系】

基礎分野、身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野、自助具福祉機器分野

【視能訓練学系】

生理光学分野、視覚生理分野、神経眼科(眼球運動・瞳孔)分野、視能矯正(斜視・弱視)分野、視能検査分野、ロービジョンケア分野

【語学教育系】

英語分野、中国語分野、韓国語分野、その他分野

【総合教育系】

国際関係分野、国際医療協力分野、社会保障学分野、法学分野、経済学分野、情報処理分野、統計学分野、心理学分野、教育学分野、教育心理学分野

【基礎医学系】

解剖学分野、生理学分野、生化学分野、病理学分野

【臨床医学系】

内科学分野、外科学分野、整形外科分野、リハビリテーション医学分野、神経内科学分野、精神神経科学分野、眼科分野

2. 応募資格 ①教授、准教授、講師については、修士以上の学位を有する者。

教育業績・研究業績があるものが望ましい。外国語（英語等）ができれば尚可。

※理学療法学系、作業療法学系、視能訓練学系は3年以上の臨床経験を有する者。

②助教については、修士以上の学位を有する者。外国語（英語等）ができれば尚可。

※理学療法学系、作業療法学系、視能訓練学系は3年以上の臨床経験を有する者。

3. 職 名 教授、准教授、講師、助教

4. 職 務 学部における教育・研究、関連施設における臨床

5. 採用人数 各分野 若干名

6. 採用予定日 平成31年4月1日以降

※就任可能な時期をエントリーシート(別紙様式1号)にご記入ください。

7. 勤務地 福岡国際医療福祉大学(仮称) 福岡県福岡市早良区百道浜

8. 任 期 原則、完成年度まで（完成年度以降は本学任期制度による）

※但し大学での教育経験のない方等については、1年ごとの契約更新も有り。

9. 提出書類
- 1) 応募エントリーシート (別紙様式第1号)
 - 2) 履歴書 (別紙様式第2号)
 - 3) 研究業績書 (別紙様式第3号)
 - 4) 教授・准教授については主要な論文の別冊3編以上
 - 5) 教育・研究に関する抱負 (様式自由：A4用紙1枚程度)
 - 6) 推薦書 (様式自由：添えることが望ましい)

※別紙様式第1号～3号は、高木学園ホームページからファイルをダウンロードできます。

○ 高木学園ホームページ (<http://www.takagigakuen.ac.jp/>)

10. 応募締切日 平成29年6月30日(金) 必着

11. 選考方法 書類審査・面接審査

12. 提出先 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-6-40
福岡国際医療福祉学院内
学校法人高木学園 人事係

※封筒に「教員応募書類在中」と朱書きし、書留でお送りください。

なお、応募書類は返却いたしません。

※応募いただいた個人情報は、本教員選考以外には使用いたしません。

13. お問い合わせ先

電話：092-832-1200 (直通)

E-mail：saiyou@takagigakuen.ac.jp

担当：柳 潔 (やなぎ きよし)

※正式採用にあたっては、文部科学省に大学設置が認可され、また教員審査において予定職位・担当授業科目「可」の判定を受けることが前提となります。

認可事項の為、申請内容が認可されました場合にのみ採用となりますことをご了承ください。

「福岡国際医療福祉大学(仮称)」の概要

設 置 者	学校法人 高木学園
理 事 長	高木 邦格
開設予定地	福岡県福岡市早良区百道浜三丁目六番四十号
大 学 名	福岡国際医療福祉大学（仮称）
学 部 名	保健医療学部（仮称）
学 科 名	理学療法学科（入学定員 40 名）（収容定員 160 名） 作業療法学科（入学定員 40 名）（収容定員 160 名） <u>視能訓練学科（入学定員 40 名）（収容定員 160 名）</u> 合 計 （入学定員 120 名）（収容定員 480 名）
専攻科名	言語聴覚専攻（入学定員 40 名）（収容定員 80 名） 〈大卒 2 年課程〉
開設予定	平成 31 年 4 月 1 日

「福岡国際医療福祉大学(仮称)」の構想

基本理念

福岡国際医療福祉大学は、「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指します。

教育目標

- ①医療福祉の高度化・専門化に対応できるとともに、それぞれの分野で指導者となりうる人材を育成します。
- ②優れた人間性を兼ね備え「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材を育成します。
- ③国内はもとより海外の医療協力でも活躍できる総合的な臨床能力をもった人材を育成します。

教育の特長

①「チーム医療・チームケア」を在学中に実践します

「チーム医療・チームケア」の考え方や必用なスキルを身につけ、国内のみならず海外でも貢献できることを見据えた本学独自のプログラムである「関連職種連携教育」を1年次から段階的に実施します。

②海外研修プログラムを通じて国際的な視野を養成します

国際貢献できる医療福祉専門職の養成のため、総合教育科目の「海外保健福祉事情」では、約2週間の海外研修を実施。異文化や海外の医療福祉の実情に触れるとともに、現地の学生との交流を通じて国際的な視野を身に付けます。

③充実したICT環境とアクティブラーニングを導入します

デジタル教材やタブレットを用いた三次元アプリを使用し、専門的な知識の確実な理解を促します。さらにアクティブラーニングの実践により、高度な知識はもちろん、医療の現場に必用な問題解決能力や社会的能力を育てます。

④充実した語学教育で国際的なコミュニケーション能力を高めます。

他の医療系の大学に比べて充実した語学教育の環境を整備します。少人数によるクラス編成のもと、ネイティブを中心とした講師による、英語、中国語、韓国語など数カ国の外国語の授業を行い、国際的なコミュニケーション能力を高めます。

⑤卒業研究に取り組み、研究手法の基本を学びます

教員のサポートのもと、関心の高いテーマについて自由に研究に取り組みます。それぞれの学生は研究の方法について理解を深めながら、国内外へ向けて情報の発信ができることを目標に、専門性を高める機会とします。

⑥ゼミナール制を導入するなど少人数を活かした学修支援環境を整えます。

ゼミナール制を全学科で取り入れるほか、1年から4年までの全学年の学生で構成された少人数グループを設け、学年の枠を超えた先輩と後輩の交流も重視するなど、きめ細かな学修支援環境を整えます。

⑦豊富なグループ関連施設で充実した臨床実習を行います。

大学に隣接する福岡山王病院をはじめ、福岡県大川市の高木病院、柳川市の柳川リハビリテーション病院、介護老人保健施設「水郷苑」、柳川療育センターなどの数多くのグループ関連医療福祉施設と緊密に連携しながら、先進の教育・研究と充実した臨床実習を行います。どの施設にも最新の医療機器が整備されており、先進の技術を修得することが可能です。

【想定される実習施設】

・福岡山王病院

病床数：199床（全床一般病床）

福岡山王病院は、今回予定している新大学に隣接した病院です。21世紀の先端医療を担う病院として2009年に福岡市早良区の「シーサイドももち」に開院しました。地域の方々の健康をお守りするため、地域の医療機関との連携を大切にするとともに、アジアの玄関口・福岡市にふさわしい世界に目を向けた病院づくりを積極的にすすめています。リハビリテーション分野においても、30名以上のリハビリスタッフが在籍し、急性期から維持期に至るまで、福岡市でも屈指の手厚いチーム体制を整えています。

・高木病院

病床数：506床（一般329床、障害者施設等病床83床、療養病80床、ICU6床、HCU8床）

1910年の高木眼科医院を発祥とし、100年以上の歴史を持っている病院であり、グループ発祥の病院です。地域の基幹病院として、プライマリ・ケアから高度先進医療、救急医療、さらには在宅医療、予防医学に至るまで、専門性に基づく質の高い医療と、心安らぐ環境を皆様に提供することを目標としています。急性期リハビリテーションに特化したリハビリスペースを広く設けるなど、救急搬送・治療・回復までの受け入れ体制を強化しております。また、国際医療福祉大学・大学院の臨床医学研究センターとしての役割を担っており、学生の実習はもとより学術面においても力を入れております。

・柳川リハビリテーション病院

病床数：240床（一般120床、療養120床）

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士100数名が在籍する、西日本屈指の人員と規模を誇るリハビリテーション専門病院です。実生活に即した訓練を行うため、敷地内には砂利道、坂道、階段などを巧みに配置した庭園を有しています。さらに、隣接地にはリハビリテーション専門職の養成校「柳川リハビリテーション学院」、介護老人保健施設「水郷苑」、在宅サービスを提供する「有明総合ケアセンター」を併設しており、医療・福祉・教育を総合的に提供する環境を整えています。他の施設にない充実した診療体制をつくりあげています。

・みずま高邦会病院

病床数：１２０床（全床療養病床）

加齢により身体機能が低下した方の治療と、機能回復訓練を専門とする一方で、自宅で療養されている方とそのご家族に対する支援の機能も備えた総合施設です。超高齢社会の医療福祉を担う人材の育成にも力を注いでいます。

・柳川療育センター

病床数：入所１１０名、短期入所１０名

適切なリハビリテーション医療を受ける機会がほとんど無かった、柳川地域の脳性麻痺や知的障害を持つ子ども達のために１９９８年に開設したのが柳川療育センターです。

２０１６年に新・柳川療育センターを開設し、その規模を大幅に拡大しました。専門の医師やスタッフの増員、検査・医療機器や設備の充実を図ることで、リハビリテーション分野の更なる強化を図るとともに、多機能を有する施設となっています。より専門性の高い治療を求められる発達障害分野の研究を行う、国際医療福祉大学の研究施設「神経発達症研究センター」も併設をしています。

*別途、３つ折のパンフレットをご参照下さい。

福岡国際医療福祉大学（仮称） 専任教員応募エントリーシート

平成 年 月 日

- 氏 名： _____ 印
- 生年月日：昭和 年 月 日（満 才）
- 現 住 所： _____
- 現 職：勤務先 _____ 職 名 _____

- 応募分野（該当する系統に レ印をお付けください）

☐理学療法学系 ☐作業療法学系 ☐視能訓練学系

☐語学教育系 ☐総合教育系 ☐基礎医学系 ☐臨床医学系

- 専門分野（簡単にご記入ください）

- 経験年数 臨床施設での臨床経験 ()年

大学・大学院等での教育経験 ()年（※印へ）

- 希望職位（希望職位に レ印をお付けください）

☐教授 ☐准教授 ☐講師 ☐助教

- 希望就任日 平成 年 月

- 海外長期滞在経験（国名と年数、滞在理由を簡単にご記入下さい）

- 外国語（英語等）の習得度合について（レ印をお付けください。重複可）

・() ☐不可 ☐論文読み書き可 ☐日常会話可 ☐授業可能

・() ☐不可 ☐論文読み書き可 ☐日常会話可 ☐授業可能

※（大学・大学院等での教育経験を記載された方）

1) 現在担当されている科目を具体的にご記入ください。

※前後期区分（前期、後期、通年、集中講義など）

科目名称 （大学等名、学部学科名）	対象 学年	前後期 区分	授業 回数

2) これまで担当されたことのある科目を具体的にご記入ください。

科目名称 （大学等名、学部学科名）	対象 学年	前後期 区分	授業 回数

（例）

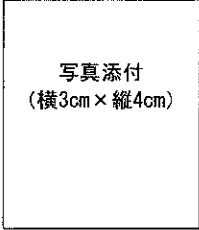
科目名称	対象 学年	前後期 区分	授業 回数
〇〇〇学入門	1年	通年	30回
△△△概論Ⅰ	2年	前期	15回

履 歴 書 (専任教員)

*年号は和暦で記入願います。

平成 年 月 日現在

フリガナ			性 別 男・女
氏 名			
生年月日	昭和 年(西暦 年) 月 日生(満 才)		
本 籍	都道府県 (国籍)		
フリガナ			
現 住 所	〒 -		
T E L		FAX	E-mail



学 歴 (中学校から記入)				*外国の学校名については、和文表記も併記。
学 校 (学部・学科) 名		修 学 期 間		○で囲む
中 学 校	立 学校	年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退
高等学校	立 学校	年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退
大 学	大学 学部 学科	年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退
	大学 学部 学科	年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退
大 学 院	大学 修士 専攻 博士 研究科	年 月 日 ~ 年 月 日		修了・中退 満期退学
	大学 修士 専攻 博士 研究科	年 月 日 ~ 年 月 日		修了・中退 満期退学
	大学 修士 専攻 博士 研究科	年 月 日 ~ 年 月 日		修了・中退 満期退学
そ の 他		年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退
		年 月 日 ~ 年 月 日		卒業・中退

学 位				*修士以上の学位について記入。
学位名称				
論 文 テーマ				
取 得 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
大 学 名				

免 許 ・ 資 格			
年 月 日		年 月 日	
年 月 日		年 月 日	
年 月 日		年 月 日	

職 歴			
勤務先及び職名（昇任歴を含む、本務主体にできるだけ詳細に記入）	○で囲む	就職（異動）年月日	退職（異動）年月日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日
	専任・嘱託・非常勤	年 月 日	年 月 日

学会並びに社会における活動	
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日

賞 罰			
年 月 日		年 月 日	
年 月 日		年 月 日	
年 月 日		年 月 日	

配偶者	有 ・ 無	配偶者の扶養義務	有 ・ 無	扶養家族数 （配偶者を除く）	人
-----	-------	----------	-------	-------------------	---

研究業績一覽

氏名

[illegible]

